

## 柔らかなココロ

「ルーツ」



2018年いよいよスタートです！

新たな年を迎え、できれば今年も心身ともに健やかに過ごせたら・・・と思っております。

さて、昨年末に35歳の誕生日を無事に迎えた私。実家の五島列島で迎えることに。年に1.2回しか帰省出来ないこの五島列島のご紹介をしてみたいと思います。

日本最西北に位置する大小合わせて140あまりの島を合わせて五島列島と呼ばれ、島のどこを眺めても海と山のコントラストが美しく、ほぼ全域が西海国立公園に指定されているという稀有な島。

釣り好きにはたまらない島(らしい…)で、釣りのメッカとも呼ばれる。夏になると台風が来て、冬になると海が荒れるため、島からの主な移動手段であるフェリーが欠航することも多々あり、試合の為、島外に出るときは天気予報に敏感になり、早めに出発することもしばしば。

人口は列島全体で約7万人。(以外に多いと感じた方も多いのでは)私の育った中通島(通称：上五島)は約2万人ほど。

そんな自然豊かな島の中で育った私にとって、現在住んでいる山口県はホント都会。みんな何にもないとか言っちゃったりしてるけど、欲しいものはそこそこ直ぐ手に入り、どこか行こうと思えば立って新幹線・飛行機・高速を使ってスルリと移動でき、人も気候も温厚な山口は素晴らしく居心地がいい。

正直、五島に住んでいる時は競技者としてのハンディキャップを少なからず感じていた。練習する相手も限定されているし、新しい技・稽古の方法なんかも今と違って情報がない。そもそも島外に遠征に行こうものならお金も時間も他のチームに比べかかってしまう現実。良い意味での諦めというか、ないならないなりに現実を受け入れていた高校時代。でも、ただでは諦めるもんかと負けず嫌いの性格を生んだのも五島で生まれ育ったからかもしれない。

この負けず嫌いの性格のおかげでずいぶん苦しい思いをした時もあった。特に多感な年頃では、競技でも生活でも勉強でも何で何でと満たされず、様々なことで思い悩む日々が続いた。でも、そんな悩みもがいていた時期があったからこそ、今があると納得できているのは、とても幸せなことだと、大人に今、気づく。

今年もこの負けず嫌いの性格が吉と出るか凶と出るか。チャレンジする限り苦しいこともついてくることも十分分かっている。でも、自分が思うままに進んでいく事しかできない私なので、出来るだけ軽やかにチャレンジしていきたい。

みなさま、こんな私ですが本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(近藤 優子)